

建築通信

2022
3号

編集・発行：
京都府立宮津天橋高等学校 建築科
京都府宮津市海馬23番地
TEL)0772-22-2116
FAX)0772-22-2117
http://www.kyoto-be.ne.jp/miyazutenkyou-hs/

建築科の魅力を紹介!!

建築科1～3年生に建築科の魅力等についてのアンケートをに答えてもらいました。
中学3年生の時に高校を選ぶ時の基準、建築科の魅力など、受験生に向けた高校生の生の声を、高校選択の参考にしてください。

Q1 建築科のどんなところに魅力を感じて入学しましたか?

- 【1年生】

 - ・他の学校にはない機械があったり、建築系の仕事に就く時に有利な資格が取れるところ
 - ・ピタゴラスイッチや校門アーチなど、みんなが作らないような作品を3年生になって作りたいと思った
 - ・クラスメイトと協力してたくさんのことに取り組めるところ

岡田 萌愛
岡本 汰樹
河合 純平
- 【2年生】

 - ・建築のことを学べ、色んな資格が取れるところ
 - ・勉強ができる設備、環境が整っているところ
 - ・ままごとハウスや東屋などを製作し、地域との関わりを大切にしていること
 - ・自分たちで製作したもので地域に貢献でき、ずっと形に残っていくところ

芦田 逸瑠
足田 真紀
河田 祥歩
谷口 綾萌
- 【3年生】

 - ・左官実習ができる
 - ・作業服を着ている先輩がとってもカッコ良かった(生徒が輝いて見える学科)
 - ・自分の進路に応じた「匠」「学」のコース選択があり、しっかり指導を受けながら決められる

井上 愛梨
富田 隆鳳
矢野 百鼓

ままごとハウス製作



令和3年度校門アーチ

左官実習



Q2 「建築科に入学して良かった!」と思ったことは?

- 【1年生】

 - ・自分の苦手な教科をしっかり勉強できる。自分の成績に合ったコースで勉強できる
 - ・良い先生たちが揃っている。部活動と勉強の両立ができる
 - ・全く知らない建築のことを、しっかり学ぶことができていること
 - ・建築の分野をより詳しく学ぶことができ、製図を描いたり楽しいことができる

岡本 遥夏
松田 蒼空
山中 聖也
渡邊 望乃
- 【2年生】

 - ・授業のペースがちょうど良いくらいに進んでくれること
 - ・建築について深く学び、その知識や技術で地域貢献ができること
 - ・グループやクラスでの作品作りを通して、協調性やコミュニケーション能力が高まった
 - ・クラスが変わらないので、仲を深めることができる

足田 真紀
小林 幸雅
谷口 綾萌
吉田 有花
- 【3年生】

 - ・木に囲まれて、木を使ったものづくりができ、みんなと実習を通して仲が深まる
 - ・校外からプロの方に講義や講習で指導してもらい、自分のスキルに磨きをかけることができる
 - ・沢山の資格がとれる。放課後など先生に聞きながら資格の勉強ができる

稲葉 そら
小川 毅留
直木 脩馬

Q3 高校を選ぶ時に参考にしたことは何ですか?

- 【1年生】

 - ・家からの距離。学習する内容。アゴラなどの学習スペース

下野 翔矢
- 【2年生】

 - ・建築通信の内容
 - ・3年間で何を学ぶことができるのか
 - ・授業中の雰囲気や勉強に集中できる環境

河野 眞生
小西 芙佳
細井 省吾

体験セミナー



- 【3年生】

 - ・中学校での学校説明会で紹介動画を見て、高校生が輝いて見えた。直感的に心にビビッときた
 - ・体験セミナー、オープンスクール、ホームページ

竹原 李花
今西 玄樹

Q4 建築の授業でどの科目が楽しいですか?また、その理由。

- 【1年生】

 - ・工業技術基礎:製図が楽しい。一つのことを黙々とするのが好きだから
 - ・工業技術基礎:少し難しいけど、終わった後の達成感がいい
 - ・工業情報数理:電卓を使って計算するのが楽しいから

前野 亜依
山本 和希
由良 颯太
- 【2年生】

 - ・実習がとても楽しい。友達と話し合っ確認しながら協力してものづくりができる
 - ・実習、製図:細かい作業が難しいけど、難しいほど自分が成長できる。仲間と協力する中でコミュニケーション能力を養える
 - ・実習:木材加工や製図が完成したときの達成感を感じられる

浅田 幸紀
小西 信貴
柴田 一景
- 【3年生】

 - ・課題研究:1・2年生で積み上げた知識や技術を活かして1つのものを作り上げることができる
 - ・実習:CADやコンペで自分が考えたデザインやアイデアを形にできる

小崎 湧斗
三野 穰

Q5 勉強以外で頑張っていること

- 【1年生】

 - ・部活動:「建築研究部」という「ものづくり」に本気で取り組める部活動で頑張っています

栗原 悠我
- 【2年生】

 - ・資格取得や検定に合格すること
 - ・部活動:新しい仲間が増え、協力する機会も増え、コミュニケーション能力や協調性をより成長させる
 - ・部活動(陸上競技):まず全国大会へ出場し、日本一を獲る(6月・近畿大会出場 やり投9位)

小倉 拓也
小西 信貴
松本 樹楽
- 【3年生】

 - ・部活動(ボート):全国制覇するために自主練も頑張っています
 - ・学校生活の中で友達と助け合ったり、趣味で心の負担を和らげてくれる何かを見つけることが大事

竹原 李花
矢野 百鼓

Q6 中学生へのメッセージ

- 【1年生】

 - ・勉強は早目にしておいたほうが良いと思います
 - ・建築科は資格もたくさん取れ、夢にもつながり、地域に貢献することもできます。宮津天橋高校で待っています
 - ・将来建築系の仕事に就きたい人はもちろん、そうでない人も製図や木材加工などいろいろな体験ができるところが魅力です
 - ・普通科より勉強は楽しいし、建築の仕事に就かなくても大丈夫だよ
 - ・今の時期、志望校に悩んでいる人が多いと思いますが、まずはオープンスクールに行って、もっと悩んで決めたいと思います

高山 稚菜
中井 咲月
中嶋 一心
松浦 修椰
吉田 楓
- 【2年生】

 - ・建築科では、チームワークや提出期限の厳守など大事なことが多く、仕事をしているみたいで楽しい
 - ・建築だけでなく普通科科目もあるので少し大変な部分もあるけど、学校生活から色んな「楽しい」を感じられます
 - ・普通科で体験できないことが多くあってとても楽しい学校生活なので、少しでも建築科に興味を持ってくれたら嬉しいです

足田 真紀
滝口 麻央
吉田 有花
- 【3年生】

 - ・資格が多く取得でき、先生も進路などに熱心に寄り添ってくれます。友達や先生、先輩が全力で支えてくれ、とても楽しいです
 - ・3年間1番楽しめる学校を選んでください。体験セミナーに参加してください。自分も参加して建築科を第一志望へ変えました
 - ・建築科の生徒全員が将来建築を目指している生徒ばかりではないですが、多種多様な岐にわたる進路を応援し指導してくれる学科です

舟橋 七海
森上 耀子
山口 翔大

※生徒氏名は敬称を省略してあります。

高校で初めての検定試験 ～計算技術検定試験～

6月18日(土)、(公社)全国工業高等学校長協会が主催する「計算技術検定試験」を行いました。

計算技術検定試験は、関数電卓を用いて計算を行う検定試験です。各級3種目それぞれ70点以上で合格となります。2級以上は種目合格が設けられ、次回以降は免除となり、3級は各回の試験ごとで3種目全て合格点に達しないと合格とはなりません。

今回、1年生は3級を、2年生は2級を全員受検し、3年生は2級の希望者が受検しました。

1年生は高校生になって初めての検定試験で、緊張した面持ちで取り組んでいました。

関数電卓を用いて計算するため簡単そうに思えますが、数学の知識が必要な問題も多く、そう簡単に合格することはできません。

建築科では、今年度から同協会主催の「リスニング英語検定」にも初挑戦し、10月の試験に向けて受検希望の生徒へ試験対策の指導をしていきます。7月には「初級CAD検定」の試験もあり、2・3年生の受検生徒は資格・検定の勉強を進めています。

多くの資格・検定の受検機会を増やし、多くの生徒に資格取得へ向けて挑戦してほしいと思います。



ほっ

と一息♪ 建築クロス No.3

1		2		3	4
		5	6		
7	8				
9			10	11	
	12	13			
14				15	

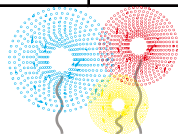
【タテのカギ】

- 1 外郎…名古屋名物の米粉を原料とするの和菓子
- 2 定期的に人が集まり「商い」を行う場所
- 3 梅…モミの木と似た常緑の針葉樹
- 4 書物や映画・演劇などの標題
- 6 生物体の構造やその働きを調べる方法の一つ
- 8 鳴門海峡で発生する海流現象
- 11 寒いときでも衣服を着込まないこと
- 13 四季のうちで最も暑く、昼が長くて夜が短い

【ヨコのカギ】

- 1 近年、習慣化した感染対策のひとつ
- 3 建物の壁面や塀などの装飾用として栽培されることもある
- 5 地下に設置された不特定多数が利用する商店街
- 7 別名「唐梅」とも呼ばれ、その名の通り中国原産の樹木
- 9 らせん状に巻きめぐる水の流れ
- 10 調理に使う深さのある容器／円形のものが一般的
- 12 需要に対して、商品の供給が不足していること
- 14 日本最大の湖を有する県の県庁所在地
- 15 ピラミッドが建てられているエジプトの地名

--	--	--	--	--	--	--



体験セミナー(建築科体験学習)

8月2日(火)に体験セミナーを開催します。

建築科の体験セミナーで中学生がどんなことをするのか、一昨年の参加者の感想とともに紹介します。
(昨年度は気象による警報発令のため中止となりました。)

8月2日(火)
実施

体験学習ではこんなことをします！

鉛筆立て製作



スチレンボード(建築模型材料)を使って、鉛筆立てを製作します。完成した鉛筆立ては、持って帰って使ってください。



CAD製図

CADを使って製図を描きます。「東屋」の建物を題材に、平面図と3Dパースを作成します。完成した図面は印刷し、ラミネート加工をして、オリジナルの下敷きとして使えます。



CADとは…
Computer Aided Design (支援設計)

設計支援ソフトのことで製図などを描くためのものです。建築や機械、自動車等で使用



材料実験



鉄筋コンクリート造の建物に使用されている材料(鉄筋・コンクリート)の強度を計測します。昨年度末に最新の機械になり、建築科の生徒以外で初めての披露！！



※上記の3つの内容のうち、体験授業で1つを体験していただきます。普通科を体験した人やもっと建築の体験をしたい人は、部活動体験の時間に建築科の体験ができます。
(前半の体験授業を受けた人は、他の2つの違う内容の1つを体験していただきます)
※建築科1～3年生がスタッフとして、お手伝いさせていただきます。
☆建築科の体験セミナーに参加してくれた中学生のみんなへ参加特典があるかも……

感想

一昨年度の体験セミナーに参加した中学生の感想

・宮津学舎は「勉強、勉強」という風なイメージでしたが、部活動にも力を入れていると分かって良かったです。
・京都スタジアムなど大きな現場の工事を見学してみたいです。もっと建築を詳しく知りたいです。
・模型作りが上手くて良かったです。アットホームで良い雰囲気でした。

・思っていたよりも女子の先輩が多かった。模型も本格的だったから、私も作ってみたいと思いました。
・周りは知らない人ばかりだけど、高校生の方が優しく接してくれて気持ちが楽でした。体験も説明も分かりやすく、興味が持てました。
・将来、ものをつくるのがしたいので、宮津天橋高校の建築科に行きたいです。

※体験セミナーに参加を希望する人は、中学校の先生を通して、参加申込をしてください。